

ロッシーニ・オペラ・フェスティバルと ロッシーニ・アカデミーの 人材育成システム

指揮者で、ロッシーニ・オペラ・フェスティバルの芸術監督、
ロッシーニ・アカデミーの学長を務めるアルベルト・ゼツダ氏に、
同フェスティバルとアカデミーにおけるオペラ人材育成のシステムの
現状や歴史についてお話を伺います。



日時 2010年6月15日(火) 13:00～15:00
会場 昭和音楽大学南校舎1階 第2会議室
講師 アルベルト・ゼツダ 指揮者、ロッシーニ・オペラ・フェスティバル芸術監督、ロッシーニ・アカデミー学長
モデレーター 小畑 恒夫 昭和音楽大学教授
通訳 富永 直人 財団法人日本オペラ振興会

アルベルト・ゼツダ *Alberto Zedda* Conductor / Artistic Director of Rossini Opera Festival / Director of Accademia Rossiniana

イタリアのミラノ生まれ。1957年イタリア国営放送主催の若手指揮者のための国際コンクールで優勝。オペラ指揮者として傑出したキャリアを展開し、ミラノ・スカラ座をはじめとしたイタリア各地のみならず、ウィーン、ベルリン、パリ、ロンドン、ミュンヘン、サン・フランシスコなどの欧米各地の歌劇場で活躍し、特にロッシーニ演奏において名声を博している。

指揮活動のかたわら音楽学研究にも取り組み、バロック音楽、19世紀以降のオペラ、オラトリオ、カンタータ(特にロッシーニ、またベッリーニ、ドニゼッティ、ヴェルディ)の批判校訂版楽譜の編纂など多くの功績を挙げ、世界的に高く評価されている。

現在はペーザロのロッシーニ・オペラ・フェスティバル芸術監督とロッシーニ・アカデミー学長を務めている。2008年には昭和音楽大学オペラ研究所のオープン・リサーチ・センター整備事業の一環として「ロッシーニ・オペラの現在」をテーマに講演するとともに、ロッシーニ・オペラ・フェスティバル初来日公演を成功に導いた。今回は藤原歌劇団公演《タンクレーディ》指揮のため来日。

主催・お問い合わせ *参加ご希望の方は、お名前とご所属先を下記にご連絡ください

昭和音楽大学舞台芸術センター オペラ研究所

TEL 044-953-9858 FAX 044-953-6652 E-MAIL opera@tosei-showa-music.ac.jp

協力 財団法人日本オペラ振興会